

「出産・子育て応援交付金事業」に伴う子育て支援アプリの導入について

健康福祉部 健康増進課

0284-22-4513

1 趣旨

本市では、国の取り組みである「出産・子育て応援交付金事業」の速やかな開始に伴い、新たに「子育て支援アプリ」を導入し、電子母子健康手帳や予防接種のスケジュール管理機能等を活用できる環境を整え、地域の子育て支援情報を継続的に発信すること等により、妊娠時から子育て期に至るまで切れ目ない子育て支援の充実を図るため、下記のとおりデジタル化に取り組むことについて報告いたします。

2 デジタル化の取り組み

(1) 子育て支援アプリの概要

ア 主な機能

- ・保護者が健康情報等の管理ができる電子母子健康手帳
- ・予防接種のお知らせと接種日程調整
- ・子育て情報のプッシュ通知
- ・医療機関検索
- ・他サービスとの連携 等

イ 導入・運用開始

今年度中に運用開始を予定

ウ 予算

子育て支援アプリ導入事業費として99千円の補正予算を計上

(2) 「子育て支援アプリ」を活用した定期予防接種予診票のデジタル化

ア 国の動向

国は令和3年6月に閣議決定した「成長戦略フォローアップ」において定期予防接種予診票のデジタル化を推進しており、先行対応可能な市町村から統一された予診票のデジタル化を順次実現する方針を掲げています。

イ 現状

乳幼児期には多くの予防接種が行われますが、現在は予診票の記入などの請求処理まで、手続きを紙ベースで行っており、保護者の手間や記入誤り、処理までのタイムラグ等が課題となっています。

ウ 予診票デジタル化の概要

定期予防接種予診票のデジタル化を進めることにより予防接種予診票の入力や医療機関での接種手続きがデジタルで実現できるようになります。

また、医療機関における接種人数や費用の集計、請求もデジタルで可能となり、入力の誤りや業務効率の改善につながります。

エ 導入スケジュール

国の示す令和7年度の本格導入に先駆け、足利市医師会の御協力のもと、市内医療機関でトライアルを行い導入に向けた検証を実施していきます。

また、将来的に「子育て支援アプリ」のメニュー画面から、予診票の入力が可能となるように検討する予定です。

3 「出産・子育て応援交付金」事業について

(1) 事業対象

令和4年4月以降に出産した方（これから出産する方を含む）

ア 令和4年4月から令和5年3月31日までに生まれた児 約650人

イ 令和5年1月から3月までに妊娠届出を提出した妊婦 約180人

(2) 開始時期

令和5年1月から申請受付、給付金の支給を開始予定

(3) 事業費

約80,000千円

うち「子育て支援アプリ」の事業費 99千円